

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					令和8年3月31日	
放課後等デイサービスつばさ								
チェック項目		はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9			基本は施設1Fでの活動だが、高学年児童は、2Fの利用も可能としている	利用人数によっては、2F利用を積極的に推し進めたい	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2		基準人員を満たす配置を心掛けている。また医療的ケアに対応できるようにするため、看護師を配置している	曜日・時間によっては、職員数が足りないと感じる時がある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1		1Fの正面玄関前は、車いすに対応したスロープ式となっている	車いす利用者のバリアフリー化にさらなる改善必要	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9			毎日の清掃や消毒を実施し、生活空間の保全に努めている	感染症（インフルエンザ等）流行の際には、さらなる清掃・消毒の強化に努めていく	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			利用人数が多かったり、1F内の活動でトラブルが生じたりした際には、スタッフ付き添いの下、2F使用も可としている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9			月ごとに定例会（全体ミーティング）を実施		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		1	保護者等評価は年1回以上実施。その他、面談等でご家族から意見をいただいた際は、反映するよう努めている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			定例会の中で、職員の意見交換と発表の機会を設けている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		1	第三者委員を任命し、適宜評価を実施。助言を業務改善につなげるよう努めている	より広い視点での外部評価を可とするため、新たな第三者委員の選出も検討	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		1	施設外の研修の機会を設けている（静岡県子ども心勉強会など）	施設内の研修については、定例会の中で実施しているものの、研修機会をさらに拡充したい	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			支援プログラムは事業所ホームページに掲載。また、支援プログラムに基づき、毎月の活動予定を設定している	利用者の多様化によっては、支援プログラムの見直し（加筆・修正）も必要と思われる	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		1	フェイスシート・アセスメントシートをご家族に記載いただき、ご家庭での状況・生い立ち・ニーズの把握に努めている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			個別支援計画作成については、支援にあっている職員の意見も参考にしている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			個別支援計画に記載の内容に関しては、新規作成・更新時に、全職員で確認に努めている	新規作成・更新時以外にも、随時確認の必要があると思われる	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		1	ご家庭での行動の状況に関しては、ご家族へアセスメントシートの記載をお願いしている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		2	本人支援・家族支援を中心に、個別支援計画における具体的な支援策の設定に努めている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9			月間活動予定を、全職員からアイデアを募り作成している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9			その月に因んだイベント（節分・ひなまつり・十五夜等）も加え、月ごとの活動の特色付けに努めている		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			社会性・コミュニケーション・認知（感情コントロール）の養成の機会として、集団活動を重視している		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	1	支援担当や支援の留意点を中心に、申し送りノートも使用し、打ち合わせ事項の共有に努めている		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	1	支援で気になる点・気づいた点については、都度口頭での共有に努めている	日によっては、支援終了直後に時間がとれないこともある。事業所LINEへの報告で補っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9				カルテによる日々の行動記録に努めている	
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	1	個別支援計画見直し時、モニタリングを実施し、ご家族との面談結果を、個別支援計画に反映している		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7		2	社会性や主体性、コミュニケーションの養成を中心に、基本活動を組み合わせている		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9			集団活動の機会を活用。集団活動前のルール決め等、児童達が自分の意見を発表する機会を設けている		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	1	児童発達支援管理責任者が主となり、会議へ参画している		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		1	学校との連携を重視。また地域の医院と協働体制を築いている		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			下校時刻は、学校からのおたよりを用いて、毎週更新している。また、特別支援学校の事業所連絡会には、必ず出席している		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	2	相談支援事業所を介して、就学前の情報収集に努めている	児童のケースによっては、就学前に利用していた事業所と、直接連携する必要も考えられる	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	2	これまで前例は無しも、高校2年生になる児童がいるため、就労継続支援事業所等との連携（情報交換）を開始予定		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	2	気になる児童の様子について、認定心理師の先生から助言を頂いている	児童のケースによっては、地域の児童発達支援センターとも連携する必要が考えられる	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	2	屋外活動時に、地域の子どもと交流する機会がある	他施設との交流機会には課題あり。また地域の子どもとの交流に関しても、ホームページ・SNSによる広報強化の必要ありか	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		3	町の事業所部会・子育て支援部会へ出席している		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			対面でのお話のほか、連絡帳やLINEを用いて、随時共有に努めている		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		2	ご家族からの希望に応じ、ペアレント・トレーニング（当事者としての相談等）を実施している		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		1	契約時、利用契約書と重要事項説明書を用いて、詳細の説明に努めている		
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		1	ご家族の意向については、アセスメントシートに記載をお願いしている		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		1	個別支援計画の新規作成・更新時には、計画を提示の上、ご家族に口頭で説明を行っている		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			ご家族からの要望に応じ、面談を随時実施している。またお迎えで来所された際にも、お話を聞くよう努めている		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	3	保護者会は、令和7年12月に開催を試みている。保護者同士の親睦の機会を、今後も企画していく	令和7年12月の保護者会は希望者が少なかった。参加を呼びかける工夫が必要	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		1	苦情があった際は、迅速な対応に努めるとともに、苦情報告書にも詳細を記している		
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			「つばさだより」の刊行を月に1度以上行い、ホームページに掲載している。また日々の活動の様子について、インスタグラムに掲載している			

非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1		利用者カルテ・個別支援計画に関しては、原則、鍵付きキャビネット内に保管としている	支援中、児童カルテがいつでも誰でも見られる状態になっていることがある。支援時間中のカルテ管理にも注意する必要あり
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			児童の発達特性に応じ、視覚情報の提供（絵カード等による指示）も行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		2	節分・ひなまつり・事業所まつり・避難訓練等の際には、地域住民の方々も招待し、地域交流を図っている	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			各マニュアルを制定し、事業所2Fにて閲覧可能としている	マニュアルの内容について、職員や利用者ご家族へのさらなる周知必要。マニュアルの見直し・整理も課題である
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		1	BCPを策定し、避難訓練を年1回以上実施している	BCPの見直し・修正も、令和8年4月までに実施する
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			服薬や診断名（てんかん発作含む）に関しては、ご家族からのフェイスシートを用いて把握に努めている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		2	これまで食物アレルギーの事例は無いが、特定の食物アレルギーがある際には、ご家族へのフェイスシートに記載をお願いしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		2	安全計画を策定し、日々の清掃・整理に努めている	整理が行き届きにくい箇所もあり、施設内の安全管理について、さらなる意識づけが必要
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	2	重要事項説明書に、非常時対応についての記載があり、ご家族へ周知している	地震発生時等の具体的な対応についても、利用者ご家族へ周知を図っていく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			事案が起きた際、ヒヤリハット・インシデント報告書を都度作成している	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		2	県・町の虐待防止研修へ参加している	研修結果について、職員間の共有をさらに推進する必要あり	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		2	施設の施錠（飛び出し防止）実施については、事前にご家族へ説明し、同意書へのご署名も頂いている		